

図書便り

第136号
(祝卒業記念号)
2017/2/28発行
茨城県立筑波高等学校
図書委員

卒業おめでとう



**3年生のみなさん、
ご卒業おめでとうございます！**

筑波高校での3年間、ふり返ってみると懐かしい思い出が、皆さんを優しい気持ちにさせてくれることでしょう。
毎日昼休みに通ってくれた人、放課後に一生懸命受験勉強をしていた人、百人一首に夢中になった人…。多くの人たちが図書室での時間を楽しんでくれました。たくさんの本に囲まれる幸せな空間を、卒業してからもずっと忘れないで下さい。そして皆さんがこれからも、人生を豊かに彩るすばらしい本と巡り会えることを、心からお祈りします。

特集！ 先生方からの推薦本
～卒業後も、人生を変えるような素晴らしい本を見つけてください～

＊小野寺 広 校長先生より『**アドラー流 たった1分で伝わる言い方**』戸田 久実(かんき出版)

以前、書店で「苦手な人がいなくなる！」というキャッチコピーが目に入り、中身も見ずに購入した本です。テレビドラマにも出てくる『アドラー心理学』に基づく内容ですが、説明がわかりやすく気楽に読めると思いますよ。

＊飯島 利通 教頭先生より『**考えすぎる脳、楽をしたい遺伝子**』

長沼毅(クロスメディア・パブリッシング(インプレス))
良い本なので、是非読んでみて下さい。

＊門井 浩 先生より『**夢をかなえるソウ**』水野 敬也(飛鳥新社)

世の中で成功した人の習慣や考え方を面白おかしく物語風に紹介しています。「募金をする」「人を喜ばせる」など、いろいろ出てきますが、今でも心に残っているのは、「自己啓発本をどれだけ読んでも、読んで達成した気になっているだけで、実際に行動に移さないから夢が叶わない。」という言葉です。皆さんは夢を叶えるために行動していますか。

＊柳沼 秀子 先生より『**旅猫リポート**』有川 浩(文藝春秋社)

自分の思うようにいかないことを、生き立ちや環境や時代や周囲の人のせいにしないで生ていくのはすごく難しいことです。その時々自分にできる範囲で一生懸命に誠実に生きていたいと思います。温かくて切なくて頑張ろうと思える物語。

＊林 直樹 先生より『**殷周伝説(コミック)**』横山光輝(希望コミックス)

休日のお昼、お菓子を食べながらこのマンガを読んでいます。どんな姿勢で読んでもワクワクします。
古代中国の歴史マンガ。横山三国志を読める人は、こっちも読んでみてね。

＊澤田 朋子 先生より『**コンビニ人間**』村田 紗椰香(文藝春秋社)

私は本を読むのが大好きです。この本も話題になっていたので何気なく読んでみました。想像以上の物語がこの中には書かれていました。きっかけはそんなものです。みなさんのきっかけにも是非なればいいなと思います。

第10回 読書会の実施

2月23日(木) 6校時 於・図書室

講師：直江 雅子先生、中山 愛 先生(「おはなしの森」所属)

図書委員と保育関係の進路希望者を対象

おはなし：「3人の糸つむぎ女」(グリムの童話)

絵本：「番ねずみのヤカちゃん」(リチャード・ウィルバー作)

※参加者からは好評で、「話し方がとても上手で絵本の世界に入ってしまうぐらいの迫力で

した。私も幼稚園の先生を目指しているので参考になりました。」等の感想が寄せられました。



【図書室からの大切なお知らせ】

*借りた本をまだ返していない人は、
3月16日(木)までに必ず返却して下さい。



＊土居 義邦 先生より『**どうぞのいす**』香山美子 絵：柿本幸造(ひさかたチャイルド)

娘が2歳のころから何度も一緒に読んだ絵本です。
動物たちが、いすの上に置いてあるものを「どうぞならばいたこう」と食べてしまうのですが、全部食べてしまっは悪いというので、代わりに自分が持ってきたものを置いていくという「思いやり」が心を和ませてくれます。
どうぞなら遠慮なくと頂いて、次の誰かのために、どうぞと置いていく。
「思いやり」というものを、絵とお話で表現しているすばらしい絵本だと思います。

＊長井 徹 先生より『**青春の門**』五木寛之(講談社)

筑豊炭鉱で生まれ育った主人公、伊吹信介。戦後の時代背景の中青春を送る生き様は、引き込まれますよ。また、完結編を今、執筆中で話題になってます。

＊曳埜 伸 先生より『**ソウの時間 ネズミの時間**』本川 達雄(中公新書)

動物として、体の大きい象も小さいネズミも一生の間に心臓が鼓動する回数は約20億回で同じとのこと。もちろん人間も同じで、寿命も体の大きさで決まる。印象に残っている本なので、皆さんも時間を見つけて読んでみて下さい。

＊大藺春美 先生より『**赤毛のアン**』シリーズ

ルーシー・モード・モンゴメリー(新潮文庫)

『赤毛のアン』はおなじみの本ですが、これは第一巻で、実は11巻まであるのを知っていますか。赤毛でそばかすの少女アンが大人へと成長しどんな人生を見つけていくのか、美しい自然やアンの豊かな感性がちりばめられています。

＊田中 勝彦 先生より『**If tomorrow comes.**』Sidney Sheldon(Harper)

英語の勉強はこれで終わり。これからは楽しみのための英語を始めましょう。邦訳では『明日があるなら』として有名です。作者のシドニー・シェルダンはハリウッドの劇の脚本・演出家としても一流で、読み始めればはらはらドキドキでノンストップで英語を英語のまま理解することが出来るかも知れません。刺激が強いので中学生には勧められませんが。